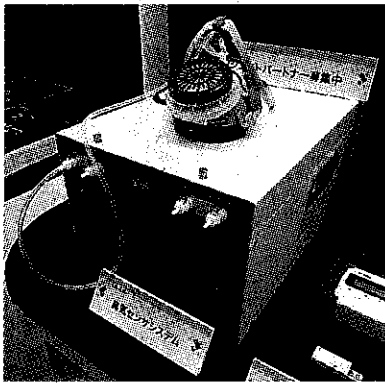


サムセンガス臭シ

8種類同時に測定

日本電波工業 研究・医療向け提案

日本電波工業は、新規臭気センサーシステムの製品化を進める。独自の混合気体中の特定成分分子を補足する「ガス匂いセンサー」を活用。最大8種類の同時測定に対応でき、濃度1兆分の1以下(ppb)の微細成分も分析可能。医薬・食品などの成分解析や研究開発に活用。



臭気センサーシステムは濃度1兆分の1以下の微細成分も分析可能

新開発の臭気センサーシステムは独自のセンサーを8チャンネルで使用。乾燥管や恒温チャンパーなど組み合わせ、装置としてシステム化した。卓上サイズでppmレベルでの検出機能を持つ装置はなく、化学合成などに付随する成分分析や研究開発向けに市場探

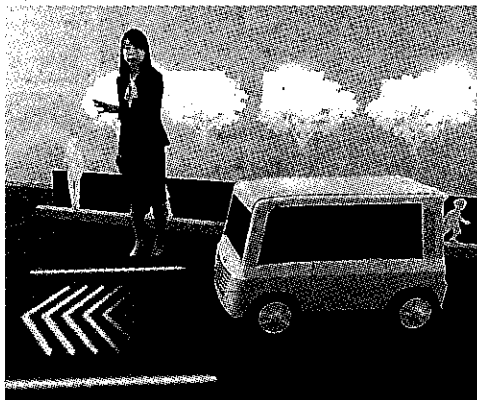
発、環境測定、呼吸中物質分析による疾患早期発見などへの応用を想定している。用途探索や共同研究などを進め早期の製品化を図る。

選択的に吸着捕捉し、質量の微小な増加を振動周波数の変化で検出する手法で、ナノピコグラム単位の微量物質を精密に計測できる。ガス匂いセンサーはその一環で、企業などとの共同開発による選択膜の種類拡大・用途開拓を進める。医療向けでは、北九州

九州大学大学院工学研究機関機械工学部門の林照剛准教授らの研究グループは、フェムト秒レーザーを用いた半導体表面欠陥の非接触光検出技術を開発した。高速・高精度の計測ができ、欠陥計測手法が確立していなかった炭化ケイ素(SiC)をはじめとする新たなパワー半導体にも適用できる。装置メーカーや半導体表面検査技術との共同研究を推進し、実用化を目指す。

三菱電機 路面ライティング技術

車の動き 光と図形で描写



ドライバーの意志や車の動きを路面ライティングによって周囲に伝える

三菱電機は23日、光で車の動きを伝える図形を道路に描く自動車向け「路面ライティング」を開発したと発表した。これにより車の動きやドライバーの意志を大きく、分かりやすく投影する。またアニメーションにより視認性を高め、事故を未然に防ぐ。光源は発光ダイオード(LED)やレーザーなどを検討。海外を含めた法規およびニーズを継続調査し、2020年度以降の事業化を目指すとともに、自動車メーカーへの訴求を強める。自動車の安全性向上の

安全運転、事故防止に期待

7592億円から22年には1・6倍の1兆2171億円まで拡大すると予想されている(富士キメラ総研調べ)。小型で安価なLEDなどの光源を車の前後左右に搭載し、より複雑な情報伝達が可能になってきている。同技術では、プロジェクターなどの技術を用いて、ブレーキランプ、ハザードランプやウィンカーだけでなく、ドア開けや前進・後退する際に道路へ光で描くことで、車の動きやドライバーの意志を大きく分かりやすく投影する。また、路面へのライテ

同技術はシリコンウエハ

中



内かす 況だ念 盛湾懸

電力増 ねの高 剛准教授らの研究グループは、フェムト秒レーザーを用いた半導体表面欠陥の非接触光検出技術を開発した。高速・高精度の計測ができ、欠陥計測手法が確立していなかった炭化ケイ素(SiC)をはじめとする新たなパワー半導体にも適用できる。装置メーカーや半導体表面検査技術との共同研究を推進し、実用化を目指す。

エレクトロニクス